

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 広島県 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	尾道市立因北中学校 全校生徒（172名）・地域・保護者
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育科 ）
4 目標 （ねらい）	学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施することで、オリンピック・パラリンピックムーブメントを推進し、児童生徒のスポーツに対する学びを深める。
5 取組内容	【事前】 ○オリンピック・新体操競技に係る指導 【当日】 ○開会行事 ①学校長挨拶・講師紹介 ②生徒歓迎のことば ○講演「夢の実現」 ※カパウの意義や価値、経験談など。 ○質疑応答 ○実技 新体操の準備運動（全員）、種具を用いた運動（代表） ○閉会行事 ①生徒お礼のことば ②記念写真 【事後】 ○アンケート・感想文
6 主な成果	○アンケートの結果から ・言葉の力 「昨日の自分に負けるな」など、言葉からの力をもらって部活動や勉強に生かしたいと気持ちが生まれた。 ・スポーツが持つ力 コミュニケーションが生まれる・生き方が変わる・障がい者の人も含め誰でも楽しめる・自分で決断したことは絶対やり通すという強い気持ちが生まれる ・オリンピック・パラリンピックへの関わり方 テレビ観戦もいいが、実際に生で観戦してみたい 地域の活動している人に貢献できるような人になりたい オリンピックに出られるような人になりたい
7 実践において工夫した点 （事業の特色）	○実践テーマ・目標（ねらい）から、対象を昨年度の一部学年から全校生徒及び地域・保護者に変更した。 ○生徒アンケート及び感想文から、生徒の学びを検証した。 ○現1年生の修学旅行の内容と関連を図り計画を進めている。
8 主な課題等	○時間と用具の関係から、実技を体験できる生徒が限られてしまう。

9来年度以降 の実施予定	○現1年生の修学旅行（2020年2月：東京にて実施）において、東京オリンピックをテーマに内容の充実を図ることとして計画を進めている。
-------------------------	---